



園だより 10月

「輝きのとき」

芝浦アイランドこども園
平成29年10月1日発行

先日は、運動会へご参加いただきまして、本当にありがとうございました。熱のこもった子どもたちの競技に温かなご声援をいただきまして、本当にありがとうございました。

運動会の練習は、子どもたちにとって遊びの時間ではないという意識が強いようです。かけっこの練習を終え、「もう、あそんでもいい」、「やったー」の声が聞こえてきました。鬼ごっこやすべり台が始まるといろいろなところから、話し声や笑い声がおきていて楽しさが伝わってきます。

子どもたちの笑顔あふれる姿を見ていて、今回の運動会のテーマが「えがお」でした。子どもたちの笑顔の素晴らしさは、私たちの毎日に大きなパワーを与えてくれています。そして、子どもたちもお母さんやお父さん、こども園のお友だちや私たち職員の笑顔が大きく作用してきます。

「笑顔」になれることで、副交感神経に働きかけて、呼吸や脈拍・血圧などが落ち着き心身がリラックスできるよう。そして、免疫力をつかさどる細胞を活性化し、血液量の増加により脳の働きをも活発になり、集中力を高めたり、記憶力にも繋がっていくといわれています。「笑顔」は連鎖していくものです。笑っている人も明るい気持ちになれるし、その笑顔で周りの人も明るい気持ちにさせられます。大人の笑顔を見て子どもたちは、安心して遊べ、食べる食材も大人が笑顔で「おいしいよ」と伝えると安心して食べられ、眠る時も笑顔であやされると安心して眠りにつけます。

先月、園内研修で元国際線のキャビンアテンダントをされていた方に「接客研修」を受けました。笑顔のもたらす多くの効用があることを学びました。これからの毎日に活かし「笑顔いっぱい」のこども園」にしていければと思っております。

(園長 宇野 雪枝)



- 2日(月) 安全指導
- 12日(木) 体力向上プログラム(5歳児)
- 13日(金) 英語(5歳)
- 16日(月) 交通安全教室(4・5歳児)
- 17日(火) 消火避難訓練
体力向上プログラム(4歳児)
- 19日(木) 秋のコンサート
＜オーボエ・チューバ・ピアノ＞
ほっとするコーヒーやさん
- 20日(金) 英語(4歳)
- 24日(火) 誕生会
- 27日(金) 3歳児遠足



- 11・25日(水) 園庭開放
- 19日(木) こども園で遊ぼう(秋のコンサート)

個人面談

- 2歳児: 16日(月)～20日(金)
- 1歳児: 23日(月)～27日(金)
- 0歳児: 30日(月)～11/2(木)

- 視力検査 10日(火) 4.5歳児
- 内科健診 11日(水) 0～3歳児
- 25日(水) 0.4.5歳児
- 身体測定 5日(木) 4.5歳児
- 6日(金) 2.3歳児
- 12日(木) 1歳児
- 13日(金) 0歳児
- 歯科指導 19日(木) 4歳児

こども園の教育・保育

運動会も終わり、子どもたちはかけっこや障害物競争に挑み、大きな自信が付き学級競技で友だち意識が大きく育まれてきました。子どもたちの育ちには目を瞞る成長が表れています。5歳児さんは、小学校に学びを滑らかに繋げていけるように修了時まで身に付けさせたい内容の指導の見直しをしていきます。

また、平成30年4月1日に、認定こども園教育保育要領の改訂が行われます。「幼児教育において育みたい資質・能力の明確化」が新たに謳われています。3つあります。①遊びや生活の中で豊かな体験を通じて、感じたり、気づいたり、分かたり、できるようになったりする「知識・技能の基礎」②気づいたことやできるようになったことなどを使いながら、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする「思考力・判断力・表現力の基礎」、③心情・意欲・態度が育つ中でよりよい生活を作り出そうとする「学びに向かう力・人間性等」が掲げられています。新しい時代を築いていく子どもたちの基盤となるこども園の教育・保育を十分に培っていきたくと考えております。

◇ 今月の教育・保育目標 ◇

- 0歳児: 保育者とのふれあい遊びややり取りを楽しむ
秋の自然に触れながら、保育者と一緒に戸外遊びや散歩を楽しむ
- 1歳児: 秋の自然に親しみながら落ち葉やどんぐりなどを拾い、保育者や友だちと一緒に秋の訪れを感じる
リズムあそびやダンスなどを通して、全身で表現することを楽しむ
- 2歳児: 手や指先を使った遊びを楽しむ
自分でできた、という達成感を保護者とともに喜ぶ
- 3歳児: 木の葉や、どんぐりなど秋の自然に触れながら遊ぶ
保育者や友だちと十分に身体を動かして遊ぶ
- 4歳児: 保育者や友だちに、自分の気持ちや経験したことを伝え、思いや話が通じたことに喜びを感じる
季節の移り変わりに興味を持ち、自然に触れる
- 5歳児: 得意なことに自信を持ち、自分ができることや役立てる場面を考え、進んでやろうとする
友だちとイメージを共有し、気持ちや考えを伝えあいながら遊びを進める
- 一時保育: 保育者や友だちと「一緒」を喜び合う
保育者と一緒に行い手洗いの仕方を知る



ボディペインティング

先日、「かもめ」と「しらさぎ」のお部屋の仕切りをなくして広々とした空間で活動を行いました。床全面をブルーシート、上に用紙を張って、絵の具と小麦粉とのりを混ぜたペイント“ピンク・青・黄・白”の絵の具が入った“たらい”が用意され、ボディペインティングをしました。“いるか”のお友だちも加わってそっと始まるかと思ったら前にも経験あるので、いっきに大賑わいでした。

おそろおそろ手につけて「ぬるぬるしてる」「きいろだらけ!」、手のひらを見せ合いっこしたり、足でぺたぺたと付けた足跡直線や手形のちょうちょうと作品を喜んでいるのもつかの間、色が重なり合い、絵の具の感触を楽しんだり、いつもはよごさないように気を付けている服にも、顔にも“ぺた!”, 職員の広い背中やお腹にも“ぺたぺた”、みんなが笑顔いっぱいでした。

